



すごいね相原★ノルデック・ウォークと街づくり

令和3年10月24日(日)雲一つない秋晴れ！町田市立相原中央公園にてノルディック・ウォークイベント（東京都シニアスポーツ振興事業）が開催され100名程のウォーカーと運営スタッフを併せて130名程度が集いました。ウォーキングコースは4種類を設けました。



芝生広場を囲む450mのコースは歩行距離を自身で決めることに意義を置き何周してもよく、要所に椅子を配置し虚弱な方も休憩しながら距離への挑戦を楽しめるようユニバーサル企画をしました。10キロコースは相模原市緑区まで足を延ばすコースにしました。自分ペースで時間を図りゴールを目指す人。コース先導スタッフによる「見どころガイド」を楽しむ人などこちらのコースもそれぞれに時を過ごしたようです。

ゴール後のお楽しみにはガラスフェージング・野菜即売・すいとん販売・小中一貫ゆくのき学園を拠点に世代間交流を目指し立ちあがった麦畑プロジェクトによる「SDGs 麦ストロー」の販売等々、里山の秋をゆっくりと過ごして頂き相原の自然と人の温かさに触れて頂きました。



本企画は二本のポールをツールに【多様性・笑顔あふれる街づくり】をテーマとし同年6月に設立した「ノルディック・ウォークまちだ相原」が公園指定管理「NPO法人レスポアール相原」「相原地区連合町内会」の協力を得ての実施となりました。

ノルディック・ウォークは歩行スタイルを変えることにより運動強度は個々で調整できる全身運動です。今回のようなイベントを充実させ「相原を訪ねたい」というファンを増やせれば良いなと思います。

【人と自然】が宝である町田相原 訪れる人々に笑顔と安らぎを

★愛の街？ 愛原？ 相原なのです

<小山田桜台団地 あれ・これ>



小山田桜台団地は、地名の通り桜が50種類と多く、俗名緑桜でマスコミにも取り上げられました。また、夏まつりもコロナ禍で例外なく中止となり、住民が一同に集まる機会が無くなり寂しい限りです。小山田桜台は、戸建て住宅・テラスハウス・共同住宅・URの賃貸住宅からなる1,618戸の住宅団地です。

団地内には現在、12の管理組合があり、その内6つの自治会がそれぞれコロナ禍のもとで小さな日常活動やイベントが繰り広げられた昨年でした。「スマホ教室」や「町トレ」等々独自に様々な自治会活動を行いました。

●当団地の中心部にある市立谷戸池公園の清掃活動と谷戸池の水質浄化です。市制60周年事業の「まちだ〇ごと大作戦」挑戦で「谷戸池水質浄化」、これには近隣の麻布大学の協力を得て徐々にですが改善が図られました。



●また、月1回の公園の清掃活動についても桜美林大学の学生ボランティアの協力を得て活動しています。



●子供たちに人気です！市内に七か所ある冒険遊び場の一つですが、「谷戸池公園冒険遊び場」です。コロナ禍の隙間をぬって“怪我と弁当は自分持ち”で「自然林の斜面を走り回り」「秘密基地をつくる」「地面に穴を掘る」「木に登る」といった子どもたちが「やってみよう」ということを実現できる場所です。遊びの中で起きる冒険や挑戦、失敗といったさまざまな体験を通し成長することができる場所です。

新しい冒険が広がる
谷戸池公園冒険遊び場
遊場
(はちばう冒険遊び場)
月・木を除き10:00~17:00開場
11月~2月 10:00~16:30開場



●また、当団地では団地内居住者の高齢化が50%を越える状況になっています。このため地域や団地の有志により「助け合いの関係を紡ぎ、地域で暮らし続ける街づくり」を目的と



して団地センター街に高齢者や子育て世代を対象とした居場所づくり「ほっとスペース・さくらさくら」を開設。●「久々の祭りに笑顔」4月子供食堂開設や城南信用金庫小山田支店のご協力も得て小さなイベントを数回実施。大人の食事代で子どもの食を支え、多世代の交流と居場所になる食堂を目指します。



今、小山田桜台団地では町田市と協働で「多世代が交流する公園団地」策定する為に、各自治会・管理組合・行政・大学など近隣エリアのマネージメントを図りまちづくりに取り組んでいます。

小山田桜台まちづくり協議会 宮原正國